

# ふれあい郵便



## 九月号

みなさん、こんにちは。お盆が過ぎてからすっかり涼しくなり、テレビでは暖房器具や除雪機のコマーシャルが流れる時期になりましたね。7月末の話になりますが、関東で盲導犬が刺される事件がありました。視覚に障害のある方が、いつものように盲導犬を連れて職場に着くと、上司から犬の体から血が出ていることを教えられたそうです。その傷は、どうやら何者かがナイフで刺したものでらしく、すぐに被害届けが出されました。

佐呂間町でも、みなさんご存じのように盲導犬を飼われている方がいます。8月号の社協だよりで、盲導犬の紹介を読まれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

盲導犬は、いついかなる場合でも、人間を優先するようしっかりと訓練されています。このような事件が、佐呂間町で起きてほしくありません。障害のある人もない人も、子ども高齢者も、安心安全で健やかに暮らせるような佐呂間町であり続けることを、切に願っています。

(社会福祉協議会 ヘルパー 山内 陽子)

